

拉致と終戦記念日

終戦記念日をひかえて先般北九州市市民文化大学で蓮池薫氏の講演を拝聴いたしました。

お話は 24 年に亘る北朝鮮による拉致の実態とその背景、現地における苦難の生活体験を通した彼と家族の切々たる愛と絆の物語でした。

彼と家族が解放されて 11 年、美しい国日本をスローガンに掲げ、拉致内閣を目玉に発足した第一次安倍内閣からいつの間にか 5 代の総理を経て、再び経済復興と 2% のインフレ政策を目玉にして登場した第 2 次安倍内閣は円安、株価上昇、紙幣乱発、デフレ脱却に向けて奔走しています。

今回の政情はややもすると戦後 68 年間に築いてきた平和日本（幻想か）の礎を揺るがす・・・
といっっては

言い過ぎでしょうか。今回お話を伺って拉致問題への真剣な取り組みは、周辺諸国との関係悪化と日本の政情を考えると一刻も猶予のない他人事とは思えないものを感じましたし、彼のお話から私共が日頃忘れがちな愛と絆、今を生きることの大切さを改めて教えていただきました。

今回の講演内容を綴った「拉致と人生、夢うばわれても 蓮池薫著 PHP 出版」を紹介します。

平成 25 年 8 月 15 日

理事長 市丸喜一郎

（管理棟 4 階廊下図書）